

①けやきプラザ

千葉県と我孫子市の複合施設です。11階の展望スペースからは市内のまちなみや手賀沼のほか、茨城県側や筑波山、柏市などの遠景が望めます。

②杉村楚人冠邸園（杉村楚人冠記念館）

朝日新聞記者で国際ジャーナリストの杉村楚人冠の住まいでした。緩やかな傾斜のある庭園には、楚人冠が植えた100本以上の椿や湧水の池があります。往時はここから手賀沼の景色が間近に見られたといえます。（開館時は庭園を通り抜けて、ハケの道へ出られます。）

③白樺派の小径（ハケの道八景）

白樺派の柳宗悦、志賀直哉、武者小路実篤たちが暮らし、彼らも歩いたハケの道です。県道8号線まで続くこの小径を、大正ロマンを思い浮かべて歩いてみてください。

④白樺文学館

曲線と白を基調とした建物とオブジェに目を引き付けられます。館内では、企画展と2つのテーママ「白樺派」「民藝運動」の展示を交互に行っています。

⑤志賀直哉邸跡

志賀直哉が大正4（1915）年から大正12年まで住み、名作「和解」「城の崎にて」などを執筆しました。復元した書斎が移築されています。

⑥小径の湧水

白樺派の小径沿いでは、斜面の所々に湧水が見られ、その湧水スポットは癒しの場となっています。

⑦旧村川別荘

我孫子宿本陣の離れを移築した母屋と朝鮮風の新館は、大正から昭和にかけての別荘空間となっています。春には「ひなのまつり」が開かれます。（開館時は庭園を通り抜けて、上の門から⑧、⑨へ行けます。）

⑧子之神寄進坂（坂道八景）

明治32（1899）年に作られた石段の中央に並ぶ石柱には当時の寄進者名・寄進額が彫られています。令和2年5月に石柱の上の方に手すりがつきました。

⑨子之神大黒天

「子之神大黒天延寿院」は手賀沼を見下ろす高台に建ち、隣の旧村川別荘の斜面林とともに、まとまった緑地です。境内の古墳など是我孫子の古い歴史を感じさせます。毎年10月には「柴燈護摩（さいとうごま）火渡り」が行われます。

⑩若松（まちなみ八景）

我孫子市内で唯一の手賀沼湖畔の住宅街です。区画が整然とし屋根の高さが揃い、落着きあるまちなみです。

30km/hに速度制限している「ゾーン30」やイメージハンブなど、人にやさしい工夫がされています。

⑪手賀沼公園（公園八景）（ちば文化資産※）

手賀沼に面した親水公園で、市の鳥「オオバン」をはじめ、いろいろな水鳥と出会え、空気が澄んだ日には、スカイツリーや富士山が望めます。「平和の記念碑」に寄り添った「平和の灯（ともび）」に、気分も穏やかになります。

⑫天神坂（坂道八景）（ちば文化資産※）と三樹荘

自然石の石段による坂で、緩やかにカーブしています。坂の西側には、柳宗悦・兼子夫妻の住居跡があり、3本のスタジアムの巨木があることから、叔父の嘉納治五郎が「三樹荘」と命名しました。

⑬天神山緑地（嘉納治五郎別荘跡）

天神坂上の東側の高台の土地は、講道館柔道の創始者である嘉納治五郎が、明治44（1911）年に別荘としたところ です。現在別荘はありませんが、銅像（令和2年建立）が手賀沼を見下ろしています。

※県民により選定された、多様で豊かなちば文化の魅力を特徴づけるモノやコト

八景歩き
検索



八景歩きは、
他にもコースがあるよ！



手賀沼のまちなみ八景



コース約4.5km
消費カロリー
202 kcal
体重60kgの方が
時速4kmで歩いた
場合

- スタート 我孫子駅南口
- けやきプラザ
- 杉村楚人冠邸園
- 白樺派の小径
- 白樺文学館
- 志賀直哉邸跡
- 小径の湧水
- 旧村川別荘
- 子之神寄進坂
- 子之神大黒天
- 若松
- 手賀沼公園
- 天神坂
- 天神山緑地
- ゴール 我孫子駅南口



白樺派の散歩道と水辺のまちなみコース

我孫子遺産

我孫子市の自然・歴史・文化を語るうえで大切なもの



13 天神山緑地から手賀沼を望む
嘉納治五郎の銅像



12 天神坂



11 手賀沼公園



10 若松



我孫子のいろいろ八景歩き 白樺派の散歩道と水辺のまちなみコース
平成 27 年 12 月 第 1 刷発行 令和 5 年 10 月 第 6 刷発行
発行 者 我孫子市都市計画課景観推進室 ☎04-7185-1111 (代表)
企画・編集 我孫子の景観を育てる会

杉村楚人冠記念館	白樺文学館	旧村川別荘
9:00~16:30	9:30~16:30	9:00~16:00
¥300(一般)(庭園無料)	¥300(一般)	無料

共通事項

入館は閉館 30 分前まで
休：月(祝日の場合は次の平日)、年末年始、館内整理日



8 子之神寄進坂

3 白樺派の小径沿いのポイント



5 志賀直哉邸跡



6 小径の湧水



7 旧村川別荘